

横浜労災病院において RODEO study にご協力いただいた方の RODEO study のデータ及び受傷機転に係るカルテデータの活用について

【研究の背景】

これまで職業性外傷の予防に関わる研究は、労働災害の未然防止を主に行われてきましたが、それに加え、現状の労働災害の実態を踏まえ、医療データの活用により、重症度の低減という新たな視点での研究が求められています。以上のことから、本研究においては職業性外傷の医療データの分析を行い、労働災害における受傷機転、受傷部位、受傷程度、障害等を踏まえた受傷程度低減策等の提案することを目的に実施しています。

(研究課題名)「せき損等の職業性外傷の予防と生活支援に関する総合的研究」

研究代表者 (独法)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 高木元也
研究分担者 同 横浜労災病院 院長 三上容司

【研究の目的と方法】

本研究は運動器外傷データである Rosai Orthopaedic trauma Database for Exploratory Outcome Study (RODEO study)等の医療データを用いた労働災害における受傷機転、受傷部位、受傷程度、障害等の分析結果に基づき、受傷程度低減策を提案することを目的としています。そこで、

2015年10月より横浜労災病院において RODEO STUDY にご協力いただいた方の RODEO STUDY のデータ及び受傷機転に係るカルテデータ

を本研究に利用させていただきます。データは氏名を特定できないように記号等に置き換えて(これを「匿名化」といいます。)個人としての情報がわからなくなるようにしてから一覧とし(これを「データベース」といいます。)、匿名化したデータベースを用いて解析を行います。

【倫理的配慮と研究成果の活用】

本研究は労働者健康安全機構本部の研究倫理審査委員会によって審査され、承認されております(通知番号2021-21)。研究に用いるデータは氏名がわからないよう匿名化されていますが、データベースは暗号化機能やパスワード保護した PC 等の機器により厳重に管理し、本研究のデータや成果は研究目的以外には使用されることはありません。その上で、氏名の情報を含めずに集団(大人数)の結果としてまとめた研究成果は、インターネット、雑誌、学術集会、学術専門誌等に公表させていただきます。

【本研究へのデータの使用をご了承されない場合】

ご自身のデータが本研究に使われる可能性があり、
データ使用をご了承されない場合には、以下まで遠慮なくお申し出下さい。

該当するデータを全てデータベースから削除いたします。なお、このようなお申し出をされても、何らご自身が不利な取扱いを受けることはありません。また、ご不明な点等がございました場合でもご遠慮なく以下の連絡先までお問い合わせ下さい。何卒、よろしくお願い申し上げます。

連絡先 〒211-0021 神奈川県崎市中区木月住吉町1番1号
(独法)労働者健康安全機構 研究試験企画調整部
研究試験企画調整課 山口、小園、石川、大島
電話: 044-431-8670 FAX: 044-411-5560